

平成 25 年度 保幼小連携研修会

I 研修名 保幼小連携研修会

II 日 時 平成 25 年 9 月 7 日（土） 午後 2 時～5 時

III 場 所 真喜良小学校体育館

IV 研修参加者数

幼稚園関係	小学校関係	保育所関係	島 外	行 政	総 合 計
25 名	26 名	82 名	8 名	3 名	144 名

※参加者数 144 名 アンケート提出者数 64 名

V アンケート結果

1 所属について

① 幼稚園関係 10 名 ②保育園関係 44 名 ③小学校関係 9 名 ④行政 1 名

2 講演について

① 大変良かった 37 名 ②良かった 21 名 ③普 通 6 名④あまり参考にならなかった

◎感想

<幼稚園関係>

- ・子ども可能性を引き出すことの大事さ。資料は参考になります。
- ・スタートカリキュラムの実践発表は大変良かった。
- ・幼稚園も運動会を過ぎれば、後半、アプローチカリキュラムに入ります。子どもが主体的に取り組めるような保育の展開を心がけ Educator を目指していきたいです。
- ・幼児教育と小学校教育との違いと共通点が、頭の中ですっきりと整理されました。また、地域の特性を生かした(石垣独自の)アプローチ・スタートカリキュラムが必要である。
- ・子どもの中の力を引き出せるような教師になりたいと思います。
- ・講師の先生が素晴らしかった。小学校の教師にもっと聞いてもらいたいです。
- ・保育園のことも、小学校低学年のつながりのこともとても理解しやすかったです。しかし、まずは、見たいという思いがあるのではないのでしょうか。

<小学校関係>

- ・「In About For」の流れを知ることが出来て良かったです。これからの学習に生かしていきたいです。(これまでは、For の部分が薄く、ただやっているだけの学習だったことに反省です。)
- ・それぞれの発達段階に即した、In About For を意識したカリキュラム編成の大切さを学ばせてもらいました。子ども自身は常につながって成長している存在なので、教師が保育士がつながることによって段差のない教育を保障出来ると思います。
- ・語りかけ話法で、丁寧でわかりやすかった。
- ・小学校側から幼稚園へ求めることを考えるとつい、小学校段階的な発想になってしまい学習に関することを考えていました。その段階に合った力をつけること、低学年でのスタートカリキュラムをきちんと位置づけて実践することが大切だと考えました。
- ・分かりやすい講話で、小学校の生活科を中心としたスタートカリキュラムについてよく理解できました。又、子どもの育ちを連続的に見取ることの大切さを改めて感じました。これから、教師の役割をしっかりと出していきたいと思います。
- ・子どもが内から出る意欲や、やる気が小学校や中学校で消えていく現状では直接教育、教師からの指示が多い中で起こるものだという事を又改めて思った。教師の発問や工夫で子どものやる気や意欲を引きあげていきたいものです。
- ・私自身養護教諭なので、保健室においても子ども 1 人 1 人を育てる立場で活かせたらと思いました。とてもよい講演でした。もっと多くの先生方に聞いて欲しいと思います。
- ・スタートカリキュラム、アプローチカリキュラムの作成は、小 1 プロブレムだけでなく学習規律や学力向上面にも成果が表れているのではないかと感じました。石垣市の今後が楽しみになりました。考える機会を頂いた木村先生に感謝です。
- ・もっとスタートカリキュラムの作成方法や注意点等を知りたいと思った。資料を見ると(P27～29)参考になる。まだまだ、入学時のカリキュラムが子どものためになっていないと痛感した。話し合い(共通理解、他校の 1 年生の先生方との話し合い等)が是非、必要だと思う。

<保育所関係>

- ・子どもの伸びを認め褒めてあげることを大切に保育をしていこうと思った。子どもの可能性を引き出してあげられる人になりたい。
- ・保育園、幼稚園、小学校等かわる方々達の合同の研修会は、良い取り組みだと思う。(互いの取り組みも見えてくる)主体性、生きる力はすごく分かりやすかったように思えます。
- ・保幼小どちらの立場からもきちんと分かりやすくて、また、現場でも実践できる内容であり、拝聴して良かったです。
- ・幼児期の遊びから得られる自己肯定感や集中力が、小学校へあがってからの土台としてとても大切であることが分かりました。
- ・小学校へどう繋げていくのか分かりやすかったです。
- ・養護と教育・・保育現場で働いている者として、改めて幼児期の自己実現体験の大切さ

を感じる事が出来ました。「生きる力」を育んでいきたいと思います。

- ・園長や施設長向けの講演だったなぁーと思います。気さくな先生で、楽しく拝聴させて頂きました。
 - ・幼稚園との交流はほとんどないが、これからは連携を常に意識することが大切だと思う。今日の講演を実践に生かし先を見つめていきたい。
 - ・久しぶりに満足しました。特に遊び（物理的、精神的）の意義について、そして後半のスタートカリキュラムの意義。In About For イギリスの環境教育から誰の為に、何の為にするのか！自己の生き方を活かせる、頭でっかちの学習だけでなく、実生活の学び（感性と身体を通した体験）に根ざした探求的な学習について、幼児期から視野に入れることの大切さ。子ども達のためになる教え、「子どもの可能性を引き出す」Educator
 - ・わかりやすく丁寧に事例をもって講演してもらいました。保幼小の連携、アクションを起こすことが少し遅かったのではないかと思います。職員が互いの分野を理解することから始まると思うので、たくさんの交流を考えさせられました。
 - ・遊びと学習、内的・外的課題への取り組み、自己肯定感の育みに関する説明が分かりやすかった。In About For 私たちには、どんな In が出来るのか調べていきたいと思います。
 - ・連携教育は必要であり、改めて教育者としての役割を感じる機会でした。
 - ・レジメに沿って例も交えての話しで分かりやすかった。連携だけの問題だと思っていたが、中身が濃く、すごく為になりました。子ども達の為に頑張っていきたいと思います。
 - ・In About For その時期に必要な全ての体力が培えるような働きを意識できました。
 - ・始めて耳にする言葉もたくさんありましたが、とても分かりやすかったです。
 - ・保幼小連携は、これからの課題ですが、今回の講演で他の県の事例を聞くことが出来て良かった。
 - ・保幼と小の教育（保育）方法の違いが明確にわかった。また、5 歳児後半で育てていきたいこと、生活の違いがはっきりわかり意識して行こうと思う。
 - ・子ども達を取り巻く地域社会の環境の変化を踏まえた、今後の保幼小教育の在り方や大切さが改めて確認でき、良かったと思います。
- ・幼稚園教育と小学校教育との違いや目標は詳しくて分かりやすかったが、連携としてどうしたらいいのか、どう進めていったらいいのかは分かりづらかったです。でも内容は具体例もあり良かったです。